

「太平山麓九条の会」だより

事務局：須黒法律会計事務所
〒328-0027 栃木市今泉町 2-4-18 FAX0282-22-3757
電話連絡先 0282-22-7079(増田) Eメール oochirasankoku9jo@yahoo.co.jp



219号
2025年12月22日発行

日本を二度と「火の海」に

してはなりません。

現在の世界の動きは混沌としており、それにしても私のみならず、アメリカ大統領トランプさんの先日の発言には驚きました。「32年間アメリカが停止して来た核兵器実験を開始するよう指示した！」との報道、私の体は膠着してしまいました。

日本初女性首相、高市早苗氏「働いて、働いて、働いて、働いて、働いて、働いて参ります。」生み育てる女性として、「外交より軍事に重きを置く政治に私は反対します。」

ノーベル平和賞、広島・長崎の被団協の方々の痛ましい体験談や貴重な証言、平和への思いを世界中回り、訴えてもらって間もない今日に、私

専守防衛を堅持し、他国に脅威を与えない、日本国憲法九条の戦争放棄、国民主権、基本的人権を謳った平和憲法を節に願ってやみません。

ほととでもシヨックを受けてしまいました。

「日本を二度と火の海にする火の海にする」ことには断固反対します。」

「9条の会」に、木村マス様より、お手紙が届きました。



1月11日 「栃木市二十歳の集い」のお祝い!!

(日)

二十歳になられる若者に「憲法豆本」をお渡しします。ご協力ください。

栃木会場	とちぎ岩下の新生姜ホール(栃木文化会館)	10時半集合
大平会場	大平文化会館ホール	9時集合
都賀会場	都賀総合支所	10時半集合

(※各会場とも、開始時刻の1時間前に集合時刻をご案内しています。)

〜カンパのお願い〜
日ごろより、ご支援・ご協力ありがとうございます。カンパのご協力をお願い致します。なおカンパは、今後の運動に使わせていただきます。

くららフェスタ 2026年3月8日開催 栃木市市民交流センター

市民団体が集い、展示・体験会・販売などを行います。



太平山麓9条の会も参加します!!

タイトル「戦争より平和を願って」憲法9条ってなあに?

「長野県・日帰りの旅」ご案内

～戦没画学生慰霊美術館 無言館・松代象山地下壕（松代大本営）へ～

日にち 2026年5月29日(金) 定員25名(詳細は後日ご案内します)

一度は訪れたいところです。新緑の季節、「長野県・日帰りバスの旅」へ!



「傷だらけ」でも輝き続ける憲法



高市総理の国会発言「台湾有事は存立危機事態」は、高市政権を存立危機に追い込みました。安倍政権は、2015年に憲法の番人である内閣法制局を、乱暴な人事介入で、内閣の補助機関に改変させ、有事法制「戦争法」を強行採決で通した。周辺危機事態、存立危機事態の規定を作り、自衛隊の武力行使に道を開きました。これは、「国の交戦権はこれを認めない」憲法9条2項の明らかな違反です。（しかし裁判所は、違憲訴訟に司法判断を下さず門前払いを続けています。）

こうしたなかで、安保法制（戦争法）強行から6年後、岸田政権は安保3文書の改悪を閣議決定し、強行して先制攻撃兵器を爆買いしました。さらに国産ミサイルを改造し、射程2000キロを目途に開発し、滑空機能も付ける開発を続けています。大型輸送艦2隻も事実上空母に改装しています。（これも憲法違反）さらに高市政権は、原潜保有、非核三原則まで否定する核持ち込みまで公言しています。

憲法9条は「国権の発動たる戦争と武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久に放棄する」と高ら

かに宣言しています。自公政権はわずかこの10年間で、事実上憲法を深く蹂躪しました。高市総理は、台湾有事で「存立危機事態」と、武力行使の発動はあり得ると国会で公言したのです。憲法蹂躪は、かつて優れたワイマールドイツ憲法がわずかな期間でナチスに蹂躪され、第2次世界大戦へ突き進み、破局的敗北を歩んだことを思い起こします。この大戦で、欧州人口の20%、アジア諸国民の2000万人以上、日本国民310万人の殺戮で終焉したことを忘れてはなりません。

いまこんな状況下でも憲法9条は光り輝いています。だから自維政権は、憲法改正が連立合意の柱になっているのです。

憲法前文の最後の文節で、「日本国民は、国家の名誉にかけて、全力を挙げて、この崇高な理想と目的を達成することを誓う。」と締括っています。すなわちこの憲法を擁護することを国民に託しているのです。託された私たち国民の責任は重大です。

日本国憲法は、国連憲章前文と対をなす憲法です。すなわち再び世界戦争を起こさせない人類英知の到達点です。確信をもって声をあげましょう。
早乙女利次（記）

栃木県総合文化センター第一ギャラリー（12月5日～8日） 「栃木県民ネット主催」

戦後80年企画 「戦争写真展」に400名の来場者！！

あの悲惨なアジア太平洋戦争が終わって80年。今回の「戦争写真展」は、戦争を再び行わせないという願いを込めて、戦争の現実を直視することに重点をおいた展示になっています。「広島・長崎の被爆の実相」、戦場となった沖縄戦での県民の悲劇、日中戦争における毒ガス兵器、空襲での被災など140点余りの写真が展示されました。



80年を経て戦争が遠くなり、その悲惨な実態が見えにくくなっている今日、「再び、政府の行為によって二度と戦争しない、させてはならない」この思いは、戦争の悲惨さを語り継いでいく日々の努力の積み重ねだと実感しました。
大森八重子（記）

スタンディング 1月9日（金）栃木市役所前 19日（月）コープ栃木店前 午後3時～